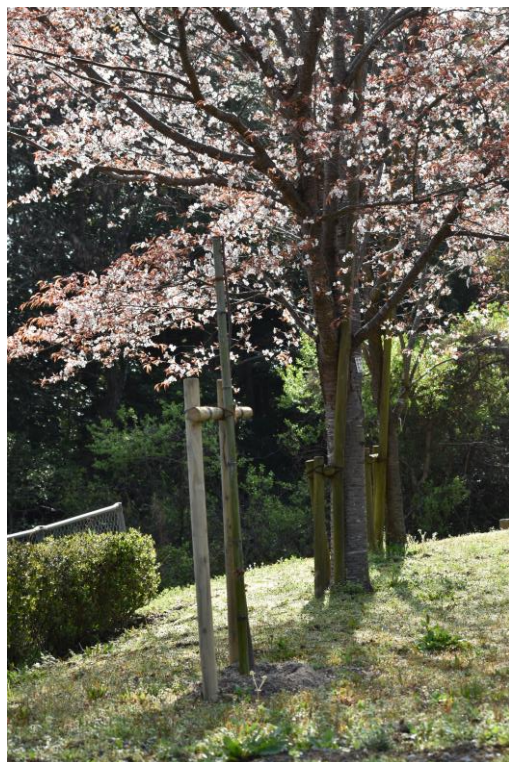


嘉代子桜の植樹が行われました

令和3年3月3日、嘉代子桜が北筑高校正門左に植樹されました。

現在はまだ直径3cmにも満たない幹ですが、「嘉代子桜」の成長を通じて、ひとりでも多くの人々に平和の心が広がり、後生に伝わっていくことを願っています。



～嘉代子桜・親子桜～

昭和20年8月9日、長崎市に原爆が投下されました。爆心地近くの城山国民学校で「学徒報国員」としてはたっていた長崎県立高等女学校4年の林嘉代子さん（当時15歳）も多くの女子学生とともに原爆の犠牲になりました。お母さんの林津恵さんは嘉代子さんを偲ぶとともに、満開の桜が娘の嘉代子さんと多くの女学生の魂をなぐさめ、人々の励ましとなるよう、願いをこめて城山小学校の校庭に桜の木を植えました。同小学校に植えられた桜は「嘉代子桜」と呼ばれ、今も母と娘の平和の心を伝えています。

北九州市は、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていくため、「嘉代子桜・親子桜を広める会」から、桜の苗木を提供していただき、植樹を進めています。

（出典 北九州市HPより）